



4-6 大火の記憶を次世代につなぐプロジェクト

<p>目的</p>	<p>大火の記録を後世に伝えるために、にぎわい創出広場に防災メモリアル機能を導入し、防災活動拠点や防災教育・啓発の場とするとともに、被災地を中心に大火の記憶を伝承するツール(仕掛け)づくりを推進します。</p>
<p>主な施策</p> <p>※施策名の末尾()は第5章の施策番号</p>	<p>① にぎわい創出広場の整備(再掲) (2-5) (広場施設内での展示や映像による情報発信、防災教育活動の展開)</p> <p>② こども消防隊の設置 (1-25)</p> <p>③ ホームページ等による復興情報の発信 (3-9)</p> <p>④ 復興まちづくり版マンホール蓋への取替 (1-26)</p> <p>⑤ 防火と大火の記憶を受け継ぐ植樹の促進(再掲) (3-8)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="464 869 896 1153">  <p>放水訓練 (糸魚川こども消防隊)</p> </div> <div data-bbox="938 824 1437 1176">  <p>糸魚川市 大火の記憶</p> <p>1. 大きな被害をもたらした大火</p> <p>強い南風がふいた12月22日 2014年(平成26年)12月22日、午前10時20分ころ、市内大町1丁目のラーメン店から火災が発生した。原因は大型コンロの消し忘れである。新潟地方気象台によると、この日の糸魚川市の天候は、湿りがかった南風が山を越えて日本海側に吹き渡るすべり現象が起きていた。市史によると、こうした風を「荒山おろし」(漢字で荒山おろしの嵐と呼び、注意を促す言い伝えもあるという。1928年(昭和3年)、1932年(昭和7年)の糸魚川大火も南風が原因とされている。</p> </div> </div> <p>こども向け副読本</p>
<p>実施主体</p>	<p>住民、自治会、市(消防団)、にいがた緑の百年物語緑化推進委員会</p>

■計画スケジュール

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
施策名	計画期		整備期		展開期
①にぎわい創出広場の整備(再掲)	機能の検討 運営の検討	計画・設計 工事	工事	供用開始	
②こども消防隊の設置	検討 発足	こども消防隊活動			
③ホームページ等による復興情報の発信	ホームページ開設 1年記録誌作成	ホームページによる情報の発信			復興記録誌 作成
④復興まちづくり版マンホール蓋への取替	デザイン検討		蓋取替え工事		
⑤防火と大火の記憶を受け継ぐ植樹の促進(再掲)	場所等の 検討	被災地内の植樹活動			

※ 計画スケジュールは、現段階で想定する手順を示したものです。